

概要版

第 6 回野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり協議会 会議録

開催日時 令和 7 年 1 月 27 日（月）
午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
場所 市役所本館 3 階 第 1 委員会室
出席者 委員 7 名中 7 名
傍聴者 8 名

1. 開 会

事務局（野洲市都市建設部 次長）から協議会成立の報告

市長挨拶

2. 議事

（1）意見聴取について

資料 1-1、資料 1-2 に基づき説明

結果 ・今年度実施した野洲川 MIZBE ステーションに係る PR 活動及び意見聴取活動について結果報告を行った。

主な意見

A 委員 私もフィールドワークやワークショップに参加させていただいた。特にワークショップでは、多くの方にご参加をいただき様々な意見をいただいた。市長もワークショップにご参加されて、熱心に議論に加わっていただいていた。本日は議長という立場でなかなかご自分の感想などを述べづらいと思うので、もしよければ参加されてどのように感じられたのか、一言いただきたい。

議長 本日に多種多様な意見をいただき、野洲市に対する期待を感じた。一方で、意見をいただいたような機能が野洲にはまだまだ欠けているということを感じ、当日の挨拶でも申し上げたが、これは MIZBE ステーションに限らず野洲市をこういったまちにしたいという声だと認識している。そのような意見の中で、この MIZBE ステーションだからこそ生きてくる機能というものを絞り込んで進めていくべきだと感じた。

C委員 資料1-2の庁内プロジェクトチーム会議で検討されている内容や結果はどこかで見られるのか。また、どのように反映されるのか教えてもらいたい。

事務局 MIZBE ステーション整備の主務は都市建設部河川防災ステーション推進室が行っているが、MIZBE ステーションに関わるアンケートやフィールドワーク等でいただいた意見を実際に動かすのは、庁内の各部局だとあらかじめ考えており、庁内の横断的な繋がりが必要であるので庁内プロジェクトチームを設置した。

現在、月2回程度のペースで会議等を開催しており、施設の性質を知ってもらうことから始め、現地視察やワークショップという形でメンバー各自から意見を聞きながら進めている。

会議の内容の結果は公表していないが、今後、協議会や実行委員会だけでなく、庁内でも共有をしながら進めていきたいと考えている。

C委員 事務局の言うとおおり、庁内の若手の意見等を活かすこと、市の他施設との連携も大切になると思うので是非、検討委員会等でも反映していただきたい。

B委員 C委員と同じく、庁内でどのような意見が出ているのか聞きたかったので、また共有願いたい。もう1点、高専について期待もいただいていると思うので、ワークショップ等でいただいた意見も含めて、これから高専のカリキュラム等を編成する中で参考にさせていただきたい。また、MIZBE ステーションの方でも高専生と連携できるのではと期待しているのでよろしくお願したい。

質問であるが、資料1-2の4ページの最後の問いの「どんな施設空間なら使いやすいか」に対する施設空間別の意見で、「その他」がかなり多いことが気になった。質問の仕方でのような回答になったのかもしれないが、その他の回答をどのように分析されているのか。

事務局 その他については様々な角度から回答いただいたため、各カテゴリーに入りきらなかったものがあり、まだまだMIZBE ステーションに対する意見は個々の意見というのも目立っている状況である。

MIZBE ステーションについては引き続き、社会実験等を実施していきたいと考えており、供用開始までに本施設を知っていただき、利活用を経験していただくことでアンケートの回答内容の傾向も変わると思っている。高専との連携という形も含めて、様々な試行的な取り組みをさせていただき、アンケートやその経過について評価もしていきたい。

B委員 交通アクセスが良いこと、駐車場の収益を維持管理に回すことなど、その他の意見で記述があったのはそのような交通に関する内容が多かったという理

解でよいか。

事務局 バス停の設置等の交通系の意見だけではない。その他の意見を一部紹介させていただくと、駐車料金を取るべきというような運営に関する意見、各小学校で MIZBE ステーションを活用した教育、巨大砂場を作ってほしい、ストリートバスケットコートやスケートボード等のアーバンスポーツでの活用、防災教育の関係、弁当屋の誘致、花火大会の場所として活用、湖魚を食べられるような生け簀養殖、ドラム缶風呂、SNS 映えを目指す、マラソン・駅伝大会の開催場所としての活用、ドッグラン等の意見があった。このようにカテゴリー分けできないような意見もあったため、「その他」に入れている。

F 委員 アンケートについてであるが、連合会としても 7 学区の連合会の中でもう 1 度実施してもらいたい。高専整備については市民の方は大体わかっていると思うが、MIZBE ステーションについては北野学区でもわかってない人がいる。まだ MIZBE ステーションは認知がされていないと思うので、7 学区の連合会にアンケートを 1 度実施し、色々な意見を聞いて進めてもらいたい。

事務局 ご意見に沿えるよう意向の集約をさせていただく。実施時期、配布範囲等については相談させていただきたい。供用開始まで 3 年弱の期間があるので、1 ～ 2 回で終わらず、アンケートや社会実験は今後も引き続き実施し、その反応を見たいと思っている。

E 委員 アンケートについて、260 数名のアンケートの回答内容として、非常に多くの意見をいただいている良いアンケートが取れていると思う。皆さんの関心があるというのは嬉しいことである。

ただ、アンケートのターゲットは高齢者や若い世代などピンポイントで取る方法がある。高齢者や高齢者施設の現場で働いている方からであればリアルな意見が吸い上げられる。防災や地域交流についても求められているためフィードバックについても考えなければならないと思う。

意見になるが、アンケートのアイデア、工夫をお願いしたい。

事務局 施設従事者や世代別で実施するといったターゲットを絞る等により様々な方から意見をいただけるよう進めたい。

D 委員 ワークショップを傍聴していたが、ワークショップで出た意見の多くはこのアンケートと同じような内容であったと感じている。当初から提案しているが、気象や防災拠点という観点からこの施設には大屋根が絶対必要だと思っている。昨年末、商工会の研修会が天津市伊香立で行われ、サイエンスパー

クを視察した。そこには芝生もあり、特に目に留まったものは大屋根である。その屋根が非常に有効に使われていたので、一度見学されると必要性が実感できると思う。

アンケートについて、琵琶湖が近く日頃から水に触れられるからなのか旧中主からの回答が少ないと感じる。MIZBE ステーションは市民の方々には周知・理解されておらず、まだまだPR 不足であると思う。

次に、琵琶湖河川事務所では MIZBE ステーションの基盤整備に関わる詳細設計を委託されている。一方で、上面の施設整備の検討は遅れをとっていると感じる。実行委員会がどういうものかわからないが、アンケートやワークショップを踏まえて、並行して進めていかなければ高専の開校と同時のオープンが難しいと思う。プランや計画があればお答えいただきたい。

事務局 スケジュールについて、今年度は施設のPR から始め、民意を汲み取るためにワークショップやフィールドワークを実施してきたところである。来年度は、いただいた意見も踏まえた社会実験、アンケート等を実施する中で、地に足のついた施設規模や発注形式を決定したいと考えている。その後、設計施工の着手となるが令和8年度以降の実施を予定している。このスケジュールに合わせて、現在、施設のPR と活用方法の検討を進めているところである。

D委員 当該施設は補助金も活用されると思うが、市から概算予算が示されておらず、これだけ多くのメニューがこなせるのか。大体でよいので予算規模を教えてください。

事務局 施設規模については、意見を聞きながら決定したいと考えており、現時点で概算予算としてお示しできるものはない。施設の規模については持続的に活用できるよう実行委員会の方の意見や取り組みを踏まえ、施設のデザインと規模を概ね固めた上で事業費を設定したい。

A委員 先ほど基盤整備の設計についてコメントがあったので、現状について共有させていただく。

MIZBE ステーションの基盤部分の設計を琵琶湖河川事務所にて進めており、基盤整備の工事については、来年度、早めの段階から整備を始めていきたいと思っている。

上面施設については市が主に整備するが、スケジュールは若干タイトになってきているため、色々な意見を聞くなかで「できること」「できないこと」のメリハリをつけながら意見聴取をする必要があると考える。

(2) 実行委員会について

資料2に基づき説明

結果 ・協議会の下部組織として、野洲川 MIZBE ステーションのあり方の具体的な検討・提案を行うことを目的に設置する、(仮称)「野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり実行委員会」について議論した。

主な意見

E 委員 実行委員会と協議会はどのように連携していくのか。また情報共有はどのように考えているのか。

事務局 実行委員会と協議会は並行して実施をしなければならないと考えている。実行委員会での取り組み内容は、協議会でも説明させていただきたい。

E 委員 施設がまだ整備されていない中での社会実験になるので、駐車場の課題があるかと思う。駐車場の確保はどうされるのか。

また、野洲市内にも活発に活動されている市民団体があり、このような団体にも参画いただくことで、意見をいただけるのではないかと。

そのような方々と共同で実施する方法などが現段階で決まっていたら教えてほしい。

事務局 社会実験では、駐車場の問題や利用者に対して料金設定をどうするかというところが課題になってくると思う。

社会実験は一度で終わるものではなく、毎回テーマを設けて、テーマに対してどのような課題があつて、それをまた次回どう解消するかという実験をしていきたいと思っている。

駐車場についても、MIZBE ステーションが出来上がったときの集客人数に対する駐車場の規模や、イベントに対しての駐車場の開設場所が課題となってくるので、そのような部分も配慮していきたい。

議長 市民団体の参加協働について何か今の段階で話せることはあるか。

事務局 アンケートなどの結果を参考にして、それを実行できるという趣旨でメンバーを募っている。

そのような方々によって実際現場で具体的に取り組みをしてみることで、まずは方向性を体感するというようなものだと考えているので、まさに実行する委員会という形で課題や改善点を整理していきたい。

- E委員 私も団体を持っているので、ぜひ参加させていただけたらと思う。
- F委員 駐車場は門扉を設けて開け閉めするのか。
一日中開けておくと、騒音やゴミ問題などの様々な問題が発生するので、今後検証していただければと思う。
- 事務局 現時点では決まっていないが、課題として意識していきたいと思う。
- A委員 資料2の3ページで、みんなの思いを乗せた運営方針を検討することがこの実行委員会の役割のひとつとなっている。運営方針については、4ページに奈良県三宅町で民間事業者公募の際の参考資料としたと書いてある。
今回の実行委員会での運営方針の検討も同様のものと考えてよいか。
- 事務局 民間でこの施設を運営・活用していきたいと考えているので、社会実験でどこまで民間主導で動いていけるのかということも確認する。
また運営にあたっては、例えば出店は公募するような方式が妥当なのかという観点でも確認しなければならないと考えている。施設が持続的に運営・維持管理されるよう社会実験を通じて考えていきたい。
- A委員 それは非常に大事な視点で、民間事業者の方にとって魅力的なフィールドでないといけないと思っているので、よろしくお願ひしたい。
- D委員 民間でという話を初めてはっきりお聞きした。
仮にフルタイムでこの MIZBE ステーションが活用され、いつ行っても民間で管理が行われているのであれば、駐車場の問題も一挙に解決する。
いつでも空いているということであれば全体のイメージが変わると思うので、その辺りをはっきり示したうえで実行委員会を進めていくのがよいのではないかと思う。
今、一番求められているのは、キャンピングモールである。
なぜなら、キャンピングカーを持っていても駐車できる施設が全国的に少ないため、そういった施設を設ければ、かなりの集客が期待できるからである。
ただ夜中に騒がれると近隣に迷惑かかるという問題もあるので気を付けなければならない。
また、夢みたいな話にはなるが、野洲川にジップラインを設けて野洲と守山を結ぶと、非常に注目されるのではないか。やはり若者に来てもらおうと思うと、そのような施設も必要になってくるのではないか。

事務局 施設を運営していくにあたって官と民の施設ごとの役割分担は非常に大事である。

また、運営にあたっては施設を使ってどのようなコンテンツを民間事業者の方にしてもらうのかということも非常に重要だと思っているので、テーマを明確にしたうえで社会実験や実行委員会を実施していきたい。

C委員 この実行委員会はどちらかと言えば運営方針や方向性を議論するものかと思うが、実際の施設規模やレイアウトなどの検討は、この実行委員会で行われるのか、また違うところでされるのか。

事務局 実行委員会では実際にプレーヤーとしての取り組みを実施していただき、課題や改善点を整理したい。

また施設を運営していくにあたっては、施設のデザインや規模感が非常に大事だと思っているので、それらを協議会や実行委員会の中でしっかり共有していきたいと思う。

(3) 今後のスケジュールについて

資料3に基づき説明

結果 ・協議会および実行委員会の今後のスケジュールについて議論した。

主な意見

B委員 実行委員会のメンバー確定や役割はどういう形で協議会に共有いただけるのか。もう一度協議会を開いて共有することになるのか。また、資料に実行委員会のスケジュールも記載されているが、来年の7月8月には施設規模や機能等について共有されるのか、スケジュール感を教えていただきたい。

事務局 まず、実行委員会の立ち上げについては、本日、実行委員会の趣旨やメンバーの一覧をお配りしているので、これをもって実行委員会を開催したいと考えている。

7月8月の実行委員会の運営方針の取りまとめについては、協議会にて報告する予定である。また、概ねの施設規模やデザイン等につきましても、7月8月までには決めなければならないため、実行委員会の皆さんの考え方を聞かせていただき、それを踏まえたものを協議会で共有できればと考えている。

B委員 本日、委員限りでいただいている実行委員会の候補者案には調整中との記載もある。決まり次第、協議会の委員には共有いただけるという理解でよいか。

また、MIZBE ステーションの整備内容等は最終的に市長の判断になろうかと思うが、それは実行委員会の中で取りまとめた上で、協議会での議論を経て、市長の判断になるという理解でよいか。

事務局 実行委員会のメンバーも施設の概要についてもしっかり協議会にも報告させていただこうと考えている。

議長 その報告は第7回の協議会になるのか。

事務局 7回目の協議会につきましては、実行委員会での検討内容を報告することになると思う。運営方針も取りまとめていく中で8月以降の協議会で概ねの施設の概要をお伝えできればスケジュールに乗ると考えている。

D委員 先ほども触れたが、実行委員会が当初計画より3ヶ月遅れている。どこかで挽回しなければならない。

高専の工事も始まっており、国の方も入札が決まっているので、市がやらなければならないことが押さえられてない気がして仕方ない。スケジュールが非常にタイトなものになるのではないかと危惧しているので、できたら具体的なスケールをあげ、実行委員会も頻度を上げて3ヶ月間の遅れを何とか取り戻すようしていただきたい。

事務局 遅れを取り戻すよう動いていきたい。

A委員 先ほど委員の方から高専と比べ、MIZBE ステーションは市民の方に浸透していないとの指摘をいただきまして、我々の方もPR不足であると思っているので、引き続きPRに取り組みたいと考えている。

去年、国土交通省に計画を提出する段階で、施設の名称は大事だという議論があり、この「MIZBE」という名称は国の政策の名前で、これがあまりキャッチーではないと思っている。実行委員会に丸投げして申し訳ないが、市民の方にも認知いただけるような名称についてもざっくばらんに議論いただいて、実行委員会で名称案を作ってもよいと思う。公募の方がよいのであればそれでもよいが、PRの一環として検討いただきたい。

議長 ご意見として承る。

3. その他

B委員 議事のなかで高専の進捗に言及いただいていたので、簡単に今の状況を共

有させていただく。

昨年9月に京都大学名誉教授の北村先生に初代校長を引き受けていただき、10月からは、顧問という形で着任をいただいている。北村先生としては「知行合一」を実践できる学生を育てるというイメージを持っておられ、コンセプト作りなどを進めている。

2月13日に野洲文化小劇場で北村先生の紹介も兼ねたイベントを開く予定である。

資料にあるとおり、昨年12月から用地造成に着手している。周辺の地元の皆様には深いご理解とご協力をいただき、ようやく現地の工事に手を付けることができた。来年度内に用地造成を完了させ、令和8年度から建物の建築に入る予定である。

建築については、現在基本設計を進めており、しかるべき段階でイメージパース等を示した上で実施設計を進め、令和8年度から工事に着手したいと考えている。まだしばらくは地元の皆様には迷惑をおかけすることになるかと思うが、引き続き情報共有をしながら進めていきたい。

一方で、学校の中身であるが、現在教員募集を行っており、来年度はカリキュラム編成を加速化させたいと思っている。北村校長予定者を中心に、来年の4月当初から開校準備教員複数名が着任するので教員チームを作り、令和8年10月には国への認可申請の手続を行う予定としている。

市役所の方、地元の皆様のおかげで野洲市の中では、高専を認知しているが、県内ではまだまだ認知いただけていないところもあるので、今年度、野洲市の小学校で実施した出前講座を、県内の学校でも実施するなどして周知していきたい。

問い合わせ先に2次元コードを掲載しているが、新しいウェブサイトを作り、情報を一元化して載せているのでぜひご覧いただきたい。また、色々なところで露出を増やすので、引き続き、地元野洲市の皆様、市長初め、委員の皆様にはご協力を賜りたい。

A委員 資料は準備していないが、国土交通省の方でもMIZBEステーションの基盤整備に関する設計をしており、来年度、工事の入札手続きが順調に進めば、年度が変わった後、工事に着手する。

地元の方が大切にされている森林の一部伐採、造成土砂の運搬等で地元の方には迷惑をおかけするがご理解ご協力をお願いしたい。高専の工事との間でも調整や連携を密にやらせていただいているが、引き続きよろしく願います。

4. 閉会

以上